

令和 6 年度

# 事業計画実績報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 横手 福 寿 会

〒019-0703 秋田県横手市増田町吉野字梨木塚100-1

## ＜ 目 次 ＞

|                                         |       |
|-----------------------------------------|-------|
| 1. 理事会・評議員会 開催状況                        | 1     |
| 2. 介護老人保健施設 りんごの里 福寿園                   |       |
| ・ 各部門総括                                 | 2～7   |
| ・ 各種委員会総括                               | 8～10  |
| ・ 研修・出張の実施状況                            | 11    |
| ・ 職員学習会の実施状況                            | 12    |
| ・ 年間行事計画の実施状況                           | 13    |
| ・ 慰問・ボランティア・実習等の状況                      | 14    |
| ・ 防災計画の状況                               | 15    |
| 3. グループホーム ひだまりの家                       |       |
| ・ 総括                                    | 16    |
| ・ 各種委員会総括                               | 17～18 |
| ・ 年間行事計画の実施状況                           | 19    |
| ・ 慰問・ボランティア・実習等の状況                      | 20    |
| ・ 防災計画の状況                               | 21    |
| 4. グループホーム ひなたの家                        |       |
| ・ 総括                                    | 22    |
| ・ 各種委員会総括                               | 23～24 |
| ・ 年間行事計画の実施状況                           | 25～26 |
| ・ 慰問・ボランティア・実習等の状況                      | 27    |
| ・ 防災計画の状況                               | 28    |
| 5. ショートステイ ラ・ボア・ラクテ                     |       |
| ・ 総括                                    | 29～30 |
| ・ 各種委員会総括                               | 31～35 |
| ・ 研修・出張の実施状況                            | 36    |
| ・ 職員学習会の実施状況                            | 37    |
| ・ 年間行事計画の実施状況                           | 38～39 |
| ・ 慰問・ボランティア・実習等の状況                      | 40    |
| ・ 防災計画の状況                               | 41    |
| 6. 居宅介護支援センター、訪問介護センター<br>訪問リハビリセンター 総括 | 42～43 |
| 7. りんごの里くらしのサポートセンター総括                  | 44    |
| 8. 事業別利用者状況表                            | 45    |
| 9. 事業実績報告の付属明細書                         | 46    |

## 令和6年度 理事会・評議員会開催状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日迄)

|          |      |
|----------|------|
| 令和 6年    |      |
| 5. 2 3   | 監事監査 |
| 5. 2 9   | 理事会  |
| 6. 1 2   | 評議員会 |
| 1 1. 1 2 | 理事会  |
| 1 1. 2 7 | 評議員会 |
| 令和 7年    |      |
| 2. 1 2   | 理事会  |
| 3. 1 2   | 理事会  |
| 3. 2 6   | 評議員会 |

# 介護老人保健施設 りんごの里 福寿園

## < 各部門 総括 >

### 「看護部門」

1. 前年同様に利用者様の状況把握や処置等の業務が安全確実かつ迅速に実施できるように各種ワークシートの見直し作成を行っている。  
入所前の情報や現状の医療状況の把握がより迅速に行うための取り組みを続けていく。
2. 医療依存度の高い利用者様が多く入所されており業務量が増大している現状から効率化と体調不良時や感染症発症時の対応などが迅速に行えるように体制を構築していくのが課題である。
3. 前年同様にカテーテル管理や医療処置の為の物品の消耗が多い状況であるが、使用物品は把握して無駄なく安全な使用に努めた。

### 「介護部門」

1. 利用者様の尊厳を守り、生活機能の維持・向上
  - ①利用者様からの意見や訴えをて真摯に受け止め、自己決定の権利を守りながら対応の改善などに努めた。
  - ②【3階】在宅復帰者を主として、継続的なリハビリを提供する事が出来たが、集中リハビリを提供できる人数の減少がみられた為、提供人数を増加するのが今後の課題と考える。  
ご本人のモチベーション維持やご家族の期待がある中で、具体的な機能向上について評価・提示できる様にリハビリ課との連携を密に実施していきたい。自立支援・在宅復帰に特化したフロアとしての役割を継続目標としていく。  
【2階】ターミナルケアについて、身体的精神的苦痛の緩和を行い、残された時間をその人らしく過ごせるようにサポートする。又ターミナルケアの見直しを定期的に行い、充足・改善を図る。日常のグループワークについては継続出来ている。今後は実施内容を見直し、少しでも日常に楽しみやハリを持った生活を送る事が出来る様にしていきたい。月1回のケーキバイキング・茶話会を開催している。四季のものを取り入れ、食の部分でも楽しみを提供していく。
  - ③トラブル発生状況については昨年と同じくらい発生している。今後は予防の観点での対応に努め、不注意や受傷を伴う事故が無いように環境作りを行っていく。
2. 介護サービス向上、人材育成への取り組み強化
  - ①個人面談を実施している。自身の仕事について見直すとともに、今後の課題へ向けた取り組みを考え実行できるようにした。また、要望等について聞き取りを行う事で働きやすい環境作りに繋げていけるよう今後も継続する。
  - ②新人オリエンテーションについては今までの計画を見直し、また、オリエンテーション職員への再指導も含め実施する事で、新人職員の職場定着を目指した。
  - ③職員の欠員により外部研修への参加が出来なかった。今後はオンライン研修など参加しやすい環境である事から、積極的に参加していきたい。
  - ④課内学習会を定期的に行う事ができ、職員の知識向上に努める事が出来た。
3. 高齢者虐待防止、身体拘束廃止、感染予防の周知徹底
  - ①各委員会での学習会等をもとに周知を図った。虐待の発生はなく、また身体拘束についても必要性の確認

や解除に向けての取り組みは継続出来ている。

- ②感染対策については、新型コロナウイルスへの適切な対応を継続していく。7月と3月に施設にて新型コロナウイルスの罹患者があった。日頃から1人1人のスタッフが感染防止対策を実施するとともに、感染予防を組織的に実践する体制を整えていく。

## 「リハビリ部門」

### 1. 【入所・短期入所療養介護サービス】

- ① 入所者に対し強化型老健の要件に合わせ週3階の個別リハビリテーション（以下、リハ）を実施した。医療機関を退院したリハ継続目的の新規入所者には短期集中リハ加算を算定し、週4～5回の個別リハを提供した（今年度の算定者26名（昨年度25名）、リハ件数907件（昨年度803件））
- ② 新型コロナウイルスやインフルエンザ感染症の発生に伴いリハ中止となることが多くあり、リハ再開後は自発性の乏しい利用者に身体機能や認知機能等の低下が認められた。感染症の経験を踏んだことで、リハ再開のタイミング判断は昨年度よりも早まっている。
- ③ 看護・介護課と連携し、日常生活動作の自立度のアップや重度化予防に努めた。特に移動において、退所先で必要となる能力を維持するための支援に重点を置いて実施した。
- ④ 歯科衛生士・管理栄養士と連携し、利用者ごとに嚥下状態・食形態や摂取状況の評価を行い、経口摂取支援をおこなった（経口維持加算の算定）
- ⑤ 短期入所の個別リハ提供は729件（昨年度1209件）であった。提供件数の落ち込みについて、新型コロナウイルス感染症の発生に伴いリハ提供の中止期間が多くあったことが原因の一つと考えられる。
- ⑥ 在宅復帰予定者に対してリハカンファレンスを実施し、復帰条件や課題の共有を図り、各職種で意見交換をして方針やプログラムを見直した。
- ⑦ 集団リハは参加者間の間隔を広めにとり、大きな声出しを避ける等の感染予防策を行った。感染症の発生に伴う中止期間が長いことや、担当スタッフが濃厚接触者となったための中止があり、実施回数が減少している。感染予防策や担当スタッフが1名であることで活動内容が限られているが、利用者様に興味を持って参加していただけるよう工夫に努めている。
- ⑧ 感染症蔓延防止のためリハ業務が停止された場合、介護課の業務補助として清掃業務や非感染者の生活介助を行った。感染症発生フロアにリハスタッフが業務補助として入ることで、状態変化に伴う評価や支援方法の発信ができ、能力向上に向けたケアが出来ていると思われる。

### 2. 【通所】

- ① 可能な限りサービス担当者会議や事前訪問に同行し、リハ状況の共有と家庭環境の情報収集を行った。
- ② 自宅や施設での自己トレーニングを個別に指導した。施設での自己トレーニングは空いた時間を活用して行って頂いており、積極的に行う利用者様は施設内の行動範囲の拡大が見られている。過用防止や正しく運動できるよう見守り、適宜指導していく必要がある。自宅での自己トレーニングは習慣化されない場合が多く、働きかけを継続する。
- ③ 短期集中個別リハ加算算定者は2名（昨年度0名）であった。今後も通所相談員、ケアマネージャーに働きかけていく。
- ④ 7月より、要支援者に対し3ヶ月に1回の頻度でリハ会議を実施している。リハ課題と方針を利用者・家族と共有することができ、リハプログラムに生かしている。

### 3. 【職場環境の整備】

- ① 通所と入所の担当ローテーションを実施
- ② 感染症以外の体調不良による長期休業はなかった。不調のサインを見逃さないように今後も気を配ってい

く。

- ③ リハ機器の消毒、通所と入所でマシンの利用時間を分ける等の感染対策は継続している。
- ④ 令和6年度は臨床実習の受け入れはなかった。
- ⑤ 課内学習会を以下の通り実施した

|                   |                                         |
|-------------------|-----------------------------------------|
| 令和6年 6月           | リハ会議について（R6年度介護報酬改定）                    |
| 令和7年 1月<br>* 書面開催 | 体圧分散マットレスの紹介<br>地域生活を支援する作業療法【研修報告】     |
| 2月<br>* 書面開催      | 食形態について<br>すべてのセラピストに聞いて欲しい息切れの真実【研修報告】 |

#### 4. 【その他】

- ① 訪問リハビリセンターが7月をもって閉鎖したことに伴い短期健康アップ教室（横手市委託業務）を週3回（各定員3名）で開催した。横手市の決定により、短期健康アップ教室は令和7年度3月末にていったん休止となった。
- ② 短期入所生活介護施設ラ・ボア・ラクテ勤務の理学療法士の退職に伴い、週2回訪問しリハ業務を行った。感染症が発生するたびに往来を控えたため、定期的な訪問とはならなかった。

## 「介護計画部門」

### 1. 在宅復帰支援

在宅復帰・在宅療養支援機能に対する評価（10項目の指標）ではコロナやインフルエンザ感染症の拡大などから入退所を一時的に止めた月もあり、加算型への移行も余儀なくされる予測だったが、県の特例措置により新型コロナ感染に限り感染拡大月はノーカウントとなり在宅強化型を継続できている。介護老人保健施設の機能が地域に認知され、特に医療機関の入退院支援担当や医療相談員、居宅介護支援事業所からの紹介が主となっている。在宅復帰者は33名で年度初めの予測としては年間40名前後を想定していたが、昨年より2名少ない状況だった。昨年同様、在宅復帰希望で期間入所したが、思うようなADL改善が見られず長期施設へ移る方々や当施設の長期枠に移行する方々が多くなっている。退所後の生活ビジョンの提案やフォローを手厚くして、居宅支援担当者や家族の理解を得ながら進める事で安定的に在宅復帰者を確保していきたい。今後も在宅生活及び地域生活への移行を目指す利用者様を積極的に受け入れ、入退所前訪問、ご家族及び居宅介護支援事業所者との密な情報共有、効果的なりハビリテーション提供を軸に30～40%台の在宅復帰率、10%前後のベッド回転率を確保していく。

### 2. 安定した利用稼働率の維持

#### 〔入 所〕

年間を通して平算86.25名となっている。コロナウイルス感染、インフルエンザ感染など施設内でクラスターが発生した月が4ヵ月あり、感染対応の為に入退所を縮小したことから、稼働率に大きく影響している。その他の月も目標値を達成した月が1月と少なく、クラスター終息後の入所対応に時間がかかっていた事や突発的な入院退所による空床を速やかに埋められなかった事、入退所訪問と併用して待機者の事前面談や入所調整に時間を要した事が挙げられる。老健機能にマッチした利用者受入れはこれまで通りに実施し医療頻度や介護度の高い方の入所も積極的に受け入れ稼働面の安定も図れればと思っている。申し込みや相談件数は例年増加傾向にあり、安定して過ごせる方を中心に、申込み受付時からの面談まで速やかに行い待機者の確保や空床時の調整ができるように希望者の直近の状況確認と早期の事前面談を実施していく。

### [短期入所]

令和6年度の平均利用は8.1名となっている。コロナウイルスやインフルエンザ感染により、SS受け入れを中止せざるを得ない状況が多々あり、稼働率に影響している。度重なるクラスターや利用者の体調上の問題（ご逝去や長期入院）からキャンセルや利用中止も相次ぎ、SS利用者の一定数確保が難しい状況も一時的にあった。安定した稼働を維持する為、SSベッドを縮小し、12床から7床まで減らしており、令和7年度中に6床まで減らす予定。令和7年度は冬季入所終了後、SS希望の方もいる為、時期で1～2床の増やす事はあるが、年平均で6～7人程度で稼働できればと思っている。在宅強化型を算定しながら全体の稼働率を維持していく為には、短期入所の稼働率と空床ベッドの利用が重要になってくる。入所ベッドの空床時に早期調整ができるように関係各所に情報提供する事、緊急の利用時はご家族送迎の協力依頼を行い、柔軟かつ誠実に対応できるように努めた。

### 3. 他職種、各課との連携

事前面接時、詳細に必要な情報を各課と確認をしたり、定期カンファレンスや入退所前訪問で随時情報共有や検討事項を解決できている。

### 4. 職員のスキルアップを図る

Zoomを用いた研修への参加、地域ケア会議への出席を通じて学習機会と他事業所との意見を交換する機会を持つ事ができた。

### 5. ケアマネジメント業務

利用者様、ご家族との面接を丁寧に実施し的確に課題を捉えて介護支援計画に反映させた。高齢者特有の急激な状態変化があった場合も、随時カンファレンス開催や他職種間の連携を今後も継続していく。

### 6. 相談及び援助

施設入所や当施設で提供するサービス利用に留まらず、利用者様やご家族のニーズに合わせた総合相談（成年後見制度利用、障害サービス利用、他施設への紹介など）に対応できている。

## 「通所リハビリテーション部門」

### 1. 利用者様の自立を目指し、生きがいのある生き生きとした生活を送るために支援する。

やる気ポイント制度について、利用者様へ分かりやすく掲示する事で内容を周知し、活動内容についても再検討し、職員間で共通認識のもと利用者様へ支援するようにした。利用者様がさらに主体的に活動できる環境を目指し、今後も自主的な活動として活発に行っていく。

リハビリについてPT、OTによる個別・集団リハビリを強化しており、介護職員も生活の中でリハビリに対する視点をさらに高めながら、今後もリハビリ課職員と連携し情報を共有し機能維持に努めていきたい。

### 2. 利用者様やご家族の満足と達成感を得られる質の高いサービスを提供する。

普段の業務とすり合わせた内容を取り上げた課内学習会を定期的に行うことで、知識向上に努め業務に生かす事ができた。

また、定期的な利用以外のご家族の都合によるスポット利用に関して、都度実施することが家族のレスパイト目的の利用に対してもしっかりと役割を果たせるように努めていきたい。

### 3. 安全・安心に利用していただける環境作りに努め、細心の配慮を心掛け、サービス提供時の事故・トラブル減少に努める。

法令の順守及び安全を第一とした運転業務の遂行を強く指導し、事故がないように運転手、添乗員が責任を持って送迎にあたった。特に冬期間は視界が悪く道幅も狭い為、時間に余裕を持ち行動する事を心掛けた。利用中の転倒及び事故は10件、昨年度より1件増加し、受診に至るケースもあった。職員個々の危険予知能力を高めヒヤリハットや、インシデントを周知して、適切な業務遂行し事故ゼロを目指す。

感染症においてはクラスターの発生はなく、今後も継続して迎え時の体温測定、利用者様とご家族の体調確認、感染症対策を徹底し持ち込み防止に努めていく。

## 「口腔衛生部門」

### 1. 通所

口腔機能向上サービス利用者は、12～15名で推移している。

新規利用者様の口腔アセスメントを実施し、口腔内の状態把握と職員ケアマネージャー、ご家族への情報提供を行うことができた。引き続き、口腔機能向上サービスが必要と考えられる利用者様へのアプローチを行い、サービス提供に繋がるよう努めたい。

全利用者様の口腔に対する相談にも対応できている。

職員への助言・指導を随時行っている。

### 2. 入所

口腔衛生管理加算は全入所者様へ対応することができた。

また、技術的助言及び指導と学習会を通して、職員への指導を実施出来た。

1月より経口維持加算を開始し、管理栄養士・言語聴覚士との連携を中心に、順次対象となる利用者様への取り組みを行っている。

短期入所を対象とした、口腔連携強化加算は現在まで希望者がおらず実施していない。希望があった際はスムーズに対応できる様、備えている。

### 3. グループホーム

口腔衛生管理体制加算において月1回の訪問が出来ており、入居者様の口腔衛生に努めている。また、職員へも随時指導を行っている。緊急時は随時訪問し職員への助言も行っている。

### 4. ラ・ボア・ラクテ

感染対策により訪問できない月を除き、月2回の訪問を継続できており、利用者様の口腔衛生向上に努めている。

訪問時は随時職員への助言を行い、口腔ケアの意識向上や技術向上にもつなげている。

口腔連携強化加算に対する助言・指導を行った。

### 5. 関係医療機関との連携を図る

歯科治療の希望者には協力歯科医院の赤沢先生の往診治療を受け入れる体制にある。ご家族様との連絡や歯科医院への依頼を行い、往診時の準備・対応を行えている。

また、利用者様やご家族の希望で、すえひろ歯科医院の対応も行っている。

### 6. その他

Web研修「介護施設における口腔・栄養に関する多職種連携の研修会」に参加し管理栄養士の視点から高齢者への取り組みや、改めて多職種連携の重要性について学ぶことができた。

今後も積極的に研修に参加し自分たちのスキルアップを図り、介護職員への助言・指導へつなげていきたいと考えている。また、利用者様やご家族様の直接の相談にもかわらず対応できるように努めていきたい。

## 「事務部門」

### 1. 職場の環境作り

①各課の垣根を越え、多くの職員とのコミュニケーションを取り、各課にまたがる問題等を横断的に解決出来るよう心掛けた。



②仕事に対する充足感を得られるように、用がある時は事務課から出向き、現場第一で業務を遂行した。

## 2. 事務業務の共有化と標準化

①業務上必要に応じての協力体制の構築に努めた。担当者がいなければ全く分からないといった事が無いようにした。

②請求業務等や利用者様の預り金など、現金や数字を扱う業務が多いが、大きなミスはなく出来た。

③物品を購入する際も、値段の比較などをした上で購入した。消耗品の節約も含め継続していく。

## 3. 地域貢献に向けた取り組み

①高齢者くらしのサポートセンターで、町内に住む独居高齢者への安否確認を実施している。

②地域活動の「つどいの和 りんりん」を1年間実施。(増田町老人憩の家にて毎週木曜開催)

# 「施設管理部門」

## 1. 施設経費の状況を把握する

①水道、各種電気、燃料の使用量及び金額の前年対比とその分析を継続する。

水道、電気代は上昇傾向がある為、節水と節電を継続する。

## 2. 車両関係

①人身に関わる事故・車両事故等はなかった。

②数台の施設送迎車両が経年劣化による更新時期を控えているが、長期的な運用を考え車両の更新については前々から計画し、送迎等の業務に支障がないように実施した。

## 3. 設備の保守

①特殊技術や特殊工具使用等の設備、機器を除き、自前で修理出来るものについては実施し、経費削減に繋げた。また、非常灯のバッテリー交換や溶接、特殊浴槽修理、車両リフトの不具合等、修繕に努めた。

## 4. 環境整備関係

①新型コロナウイルス感染予防の為、全館の窓ガラス清掃のみ実施。館内フロアのワックス掛けは次年度以降の課題である。

②芝生と植栽樹の維持管理を継続する。

前年同様に除草剤使用による雑草の抑制、芝生の刈り取り、石拾い等の環境整備をした。

③除雪について常に早めの作業に努め、安全かつ効率的な除雪を実施。除排雪中のけがや事故はなく、物損も発生しなかった。

## 5. その他

①インフラ整備面では、経年劣化により数か所で配管の漏水等による工事が必要となったが、日中出来ない水道や配管工事は夜間に行い、騒音が発生する作業は事前に周知した上で出来る限り利用者様の迷惑にならないように実施した。

## ＜ 各種委員会 総括 ＞

### 「行事委員会」

活動内容

6月：レクリエーションゲーム 9月：打上げ花火、敬老会 12月：餅つき 2月：節分（豆まき）

- ・近隣の新型コロナウイルスの流行状況に配慮し、出来る活動を実施した。

前年度に続き施設内での活動に限られたが、縮小や形を変えながらも季節行事などを企画し、実行することができた。コロナ禍の施設生活において、一つでも多く行事を開催出来るよう、感染対策に配慮した室内の行事を模索した一年となった。今年度開催できた企画をもとに来年度も積極的に活動していきたい。

- ・外出行事を3年間実施出来ていない。感染症に十分注意し外出行事を行っていき、社会との関わりや、ご利用者様の気分転換を図っていく。可能な限り1回は開催出来るように計画していきたい。

### 「給食改善検討委員会」

1. 食事形態に合った食べやすさを考慮し、他職種と連携・検討することができた。
2. 嗜好調査から実態を知り、要望に対応できるように努められた。
3. 行事食等の反省点を細かく話し合い、生かすことができた。

### 「家庭介護者教室運営委員会」

1. 今年度も新型コロナウイルスの影響により、ご家族を施設に迎えての教室開催は実施できなかった。ご利用者様・ご家族へ向けて、在宅介護に役立つ情報を掲載したお便りを2回発行している。また、道の駅への配布や“集いの和りんりん”での配布を継続し、地域への情報発信を行っている。

内容については下記の通り。

第1回：秋冬の脱水と上手な水分の摂り方について/高齢者の災害時に役立つ情報

第2回：身体機能の活性化に繋がる体操/施設での食事について

通常の面会が再開されるまで教室の開催は困難だと考えている。お便りの発信を継続している。施設内で感染症が流行した際は委員会を開催出来ず、発行を遅らせた時もあったが、計画通り2回発行した。体操の紹介ではQRコードを掲載し、それを読み取って動画を視聴できるようにした。関心を持って視聴してくださった方もいたため、様々な方法を取り入れたわかりやすいお便り作りを目指していきたい。

### 「環境・サービス向上委員会」

1. 環境整備について

①各居室の消臭ビーズ交換を定期的に実施した。

②下駄箱清掃を実施したが、全職員が行ったとは言いきれない為、実施していない職員への促しをしていく。

2. サービス向上について

①ご家族アンケート

多くは暖かいお言葉を頂戴したが、改善が必要なご意見については適切に改善していく。

## ②勉強会

資料を自己評価表と一緒に配布し参考にして頂いた。介護課のみで接遇マナーと勉強会を合同で行った。

## 「褥瘡対策委員会」

1. 褥瘡予防のために以前購入したケア用品の老朽化や劣化が目立ち、効果や機能に問題が出てきていたが適宜補充や代用品の活用で対応した。
2. 日常的に適切な体位交換の実施が出来ていた。
3. 褥瘡計画書に基づいたリスクに対する予防ケアの実施は概ね行えていた。来年度は、各職種に具体的な役割を依頼し、褥瘡発生防止に努めていく。

## 「感染対策委員会」

1. 定期的に委員会を開催し感染対策の問題や対策の修正、備品の確認を実施した。  
4度のクラスター発生があった中で、初動や問題点など振り返り、マニュアルを基に当施設の具体的な行動指針を検討している。  
今後においても発生時の動き同様に、感染症の持ち込み防止や感染症に関しての職員個々の知識や意識を向上する事が課題である。
2. 定期学習会の開催については業務状況などから集団での開催は叶わず、各課での紙面での開催となった。

## 「事故発生防止委員会」

1. 実施計画内容については概ね実施出来ている。ヒヤリハットの有効活用や各課との情報共有から個人へのアプローチについて、今後の課題としたい。

「事故発生状況」（前年度比）

転倒 50件 (-5)：誤嚥 0件 (-1)：誤薬 0件 (-2)：皮膚トラブル 25件 (+10)

経管トラブル 1件 (+1)：異食 2件 (+2)：その他 4件 (-3) 累計 82件 (+2)

皮膚トラブル 前年度より事故発生件数が +2件と増加している。

重大な事故を減少出来るように働きかけ、対応を行っていく。骨折について、令和6年度は3件発生している。職員の不注意によるトラブルを減らす為には常に意識づけをしていかなければならない。慣れにより慢性的なケアにならない様に、今後も委員会等から定期的に働きかけていく。

2. 安全衛生については、各部署の危険箇所の確認や腰痛防止、メンタルヘルスへの取り組みが不足していた。今後は定期的に各部署の職場環境チェックを実施し、検討・改善に努める。  
また、学習会等での全体周知も実施する。

## 「排泄改善委員会」

1. ご利用者全員の排泄機能向上を目標とし、委員会での各課の意見を基に現場への助言を行っていった。各委員では伝えきれない重要な事項に関しては、介護課会議を活用し、各ブロック長に直接伝えていくよう努めた。
2. 在宅復帰者に関しては、委員会内でリハビリ状況やご家族、ご利用者本人の意向をこまめに確認する事ができ、在宅復帰に向けた対応の変更をスピーディーに行っていたと思う。
3. 定期的な排泄用品の使用状況が報告できず、大量の在庫を抱えてしまう事態が起こってしまった。今後は

各ブロック長の月一回の使用状況報告を徹底し、現状にあった適切な個数を継続していき、コスト削減に繋げていきたい。

4. 今年度も排泄介助のスキル向上を目指した学習会を開催出来なかったのが、次年度の目標としていきたい。
5. 次年度の課題として、尿路感染者をリストアップし、予防の一環として1日1回の陰部洗浄実施を進めていく。

## 「高齢者虐待防止委員会・身体拘束廃止委員会」

1. 前半はなかなか委員会を開催することが出来ず、身体拘束廃止に向けてのカンファレンスを定期的に行うことが出来なかった。シフト調整をするのが遅れてしまったことが原因と思われる。後半は早めに委員メンバーに声をかけ1カ月ごとに実施することが出来たので、次年度も継続していきたい。
2. 高齢者虐待に関してはアンケートを実施し、自分が気を付けている事と、第三者が気になっている事に差がある事を感じてもらえたのではないかなと思う。内出血などが多く発見されることもあったので、定期的に虐待防止への意識を委員会から発信していきたい。
3. 身体拘束に関しては、解放に向けて少しずつ前進出来た方もいた。全ての解放とまではいかなくとも、短時間でも拘束具を外しストレスのない時間を作れたらと思う。その為にも動作の確認や、日々の視察を通して情報を集め、カンファレンスを行っていきたい。

## 「防災委員会」

1. 定期的な非常用物品の点検及び整理  
備蓄庫及び施設内非常用物品の点検を実施した。
2. 消防設備、機器の把握と使用手順の周知徹底  
避難訓練時に消化器及び屋内消火栓を使用しての消化訓練、非常放送設備での館内放送、自動火災通報装置での通報連絡及び物干し棒と毛布等を利用しての簡易タンカの作成訓練を実施した。
3. 全職員の避難訓練の参加により、火災発生時の対応を体得する。  
年2回の避難訓練を実施し、できる限り訓練経験のない職員を優先して参加させている。
4. 年間防災計画に基づいた各種点検、訓練の実施  
法定の消防設備点検を専門業者に依頼し機器点検及び総合点検を実施した。防災避難訓練を消防署指導の下、日中想定、夜間想定で2回実施した。また、停電時想定での防災訓練を実施した。

## 「経口摂取委員会」

- ① 月に1回委員会開催
- ② 前半は委員会参加者が主に管理栄養士、歯科衛生士、言語聴覚士で、他メンバーに関しては代理の出席または書面での参加となった。また感染症が発生すると中止となり、毎月行うことが出来なかった。
- ③ 摂食嚥下障害のある方について話し合い、検討した内容を個々にフロアに伝えていた。
- ④ 月1回開催のため、現在の状況を振り返る側面があった。
- ⑤ 令和7年1月からは経口維持、移行加算が始まったため、12月から流れや書類の整備を行った。3月現在では2・3階含め28名経口維持加算を算定している。
- ⑥ 経口維持加算を継続して算定するためには、委員会メンバーが全員参加することが必要なため、事前に日程調整を図る必要があった。

## 『介護老人保健施設 りんごの里 福寿園』

## 研修・出張の実施状況

| 参 加 年 月 日               | 研 修 内 容                                          | 場 所               | 参 加 者                  |
|-------------------------|--------------------------------------------------|-------------------|------------------------|
| 令和 6 年<br>6 月 4 日       | 令和 6 年度第 1 回横手市福祉施設栄養士協議会研修会                     | ヤマダフーズ            | 金村 美由紀                 |
| 6 月 1 8 日               | 令和 6 年度横手市栄養士連絡協議会総会並びに<br>第 1 回研修会              | 旭ふれあい館            | 貴俵 恭子                  |
| 7 月 2 4 日～<br>7 月 2 6 日 | 介護支援専門員更新研修                                      | オンライン             | 高嶋 美奈子                 |
| 9 月 3 日                 | 腰痛症場への対応を学ぶ                                      | サンサン横手            | 柴田 亜紀                  |
| 1 0 月 2 6 日             | 令和 6 年度秋田県介護老人保健施設職場交流研修会<br>老健施設での新型コロナウイルス感染対策 | サンルーラル<br>大潟      | 菊地 浩記<br>原 美穂<br>鈴木 怜実 |
| 1 1 月 1 日               | 秋田県社会福祉施設等<br>感染症対応力向上推進者養成研修                    | 金沢地区交流<br>センター    | 高嶋 美奈子                 |
| 1 1 月 2 8 日             | 令和 6 年度横手市栄養士連絡協議会研修会                            | 旭ふれあい館            | 貴俵 恭子                  |
| 1 2 月 2 日               | 感染症対策についての見学                                     | ショートステイ<br>あいの森   | 原 充<br>高嶋 美奈子<br>原 美穂  |
| 1 2 月 1 4 日             | 地域ケア会議                                           | オンライン             | 高橋 克典                  |
| 1 2 月 1 9 日             | 令和 6 年度第 2 回横手市福祉施設栄養士協議会研修会                     | 旭ふれあい館            | 貴俵 恭子                  |
| 令和 7 年<br>1 月 1 5 日     | 秋田県理学療法士介 専門領域研究循環器グループ                          | オンライン             | 佐藤 舞                   |
| 2 月 8 日                 | 介護保険施設における<br>口腔・栄養に関する多職種連携の研修会                 | オンライン             | 佐々木 綾子<br>柴田 百合子       |
| 2 月 2 8 日               | 令和 6 年度県南地区介護支援専門員協会第 3 回研修会                     | 横手市生涯<br>学習館Ao-na | 佐藤 弥生                  |

# 職員学習会の実施状況

## 【全課合同】

| 開催年月日        | 研修内容                                                          | 参加人数 |
|--------------|---------------------------------------------------------------|------|
| 令和 6年 5月20日  | サービス向上・事故発生防止について                                             | 書面開催 |
| 令和 6年 7月22日  | 感染対策・事故発生防止について                                               | 書面開催 |
| 令和 6年 9月30日  | 非常災害時の対応について プライバシー保護の取り組みについて<br>職業倫理及び法令順守について 介護事業者の接遇について | 書面開催 |
| 令和 6年 11月25日 | 感染対策・褥瘡予防について                                                 | 書面開催 |
| 令和 7年 1月27日  | サービス向上・事故発生防止について                                             | 書面開催 |
| 令和 7年 3月24日  | 高齢者虐待防止・身体拘束廃止について                                            | 書面開催 |

## 【介護課】

| 開催年月日        | 研修内容                                         | 参加人数 |
|--------------|----------------------------------------------|------|
| 令和 6年 7月24日  | 口腔ケア基礎知識の確認                                  | 8名   |
| 令和 6年 8月27日  | 誤薬についての理解 服薬介助の説明と手順の実践                      | 8名   |
| 令和 6年 11月14日 | 窒息・誤嚥について<br>食事姿勢、食事介助のポイント、窒息時の対応について       | 9名   |
| 令和 6年 12月27日 | 認知症の種類とその症状<br>認知症の予防、家族ができる認知症の方へのアプローチについて | 10名  |
| 令和 7年 3月 3日  | 骨粗鬆症に対しての問題 症状と原因<br>高齢者の骨折しやすい箇所 骨折時の対応について | 7名   |

## 【通所リハビリテーション課】

| 開催年月日        | 研修内容                                        | 参加人数 |
|--------------|---------------------------------------------|------|
| 令和 6年 4月24日  | 接遇マナーについて                                   | 8名   |
| 令和 6年 6月26日  | 介護職員の為の簡単ストレッチ&トレーニング<br>熱中症の症状の確認          | 7名   |
| 令和 6年 8月28日  | 失語症を理解しよう                                   | 9名   |
| 令和 6年 10月23日 | 新型コロナウイルスにおけるマニュアルの見直しと再確認<br>個人用防護用具の着脱の実践 | 8名   |
| 令和 6年 12月18日 | 高齢者の病気 早期発見について 不                           | 9名   |
| 令和 7年 2月26日  | お風呂でのぼせたら？原因・症状対処と予防方法について                  | 8名   |

## 【リハビリ課】

| 開催年月日       | 研修内容                                 | 参加人数 |
|-------------|--------------------------------------|------|
| 令和 6年 6月14日 | 令和6年度の介護保険改定<br>「リハビリテーション会議の実施について」 | 6名   |
| 令和 7年 1月    | ① 研修報告 ② 体圧分散マットレスの紹介                | 書面開催 |
| 令和 7年 2月    | ① 研修報告 ② 食事形態について                    | 書面開催 |

※不参加職員には資料配布

## 年間行事計画の実施状況

| 実 施 年 月 日                 | 行 事 名                   | 場 所           | 具 体 的 目 標                    | 主 な 内 容               |
|---------------------------|-------------------------|---------------|------------------------------|-----------------------|
| 令和6年<br>7月7日              | 七夕行事                    | 施設内           | 季節感を味わう食事を提供                 | 七夕そうめんの提供             |
| 令和6年<br>9月6日              | 花火大会                    | 施設内           | 花火鑑賞。コロナにより駐車場での見学は無し。（移動なし） | 花火打ち上げのみ              |
| 令和6年 9月16日<br>9月18日       | 敬老の日                    | 施設内           | 長寿の表彰（9/16）<br>敬老の日お祝い膳      | 長寿の表彰<br>敬老の日お祝い膳の提供  |
| 令和6年 9月23日                | 秋分の日                    | 施設内           | 季節感を味わう和菓子の提供                | 季節の練り切り（紅葉）           |
| 令和6年10月3日～<br>10月19日      | 秋の味覚                    | 施設内           | 季節感を味わう食事の提供                 | 芋の子汁の提供               |
| 令和6年 12月25日               | クリスマス                   | 施設内           | クリスマスを彩る食事の提供                | ブラウンシチュー<br>ケーキの提供    |
| 令和6年 12月27日<br>12月30日     | 餅つき大会<br>おみくじ大会<br>（入所） | 施設内           | 季節感を味わう行事。餅つき体験<br>年の瀬を感じて頂く | 利用者様と一緒に餅つき<br>おみくじ引き |
| 令和6年12月31日～<br>令和7年 1月 1日 | 年越し～元旦                  | 施設内           | 年の瀬、新年を祝う食事の提供               | 年越しそば、おせち料理の提供        |
| 令和7年 2月 3日                | 節分行事                    | 施設内<br>（入所のみ） | 他利用者との交流を深め楽しんで頂く            | 感染予防のため中止             |
| 令和7年 3月26日                | ゲーム大会<br>（ボウリング）        | 施設内<br>（入所のみ） | 他利用者との交流を深め楽しんで頂く            | 利用者様とボウリング            |

※コロナ禍のため外出行事、花火大会駐車場での鑑賞なし。節分行事の中止

## 慰問・ボランティア・実習等の状況

| 視察・慰問年月日            | 視 察 ・ 慰 問 者 名     | 備 考         |
|---------------------|-------------------|-------------|
| 令和6年<br>7月30日       | 湯沢南中学校（2年生 1名）    | 通所リハビリテーション |
| 令和6年<br>9月30日～10月3日 | 県立衛生看護学院（学生 8～9名） | 看護実習        |
| 令和7年<br>1月11日       | 仙台医療福祉専門学校（学生1名）  | 通所リハビリテーション |
| 令和7年<br>3月12日       | 仙台医療福祉専門学校（学生1名）  | 通所リハビリテーション |



## 防災計画の状況

### 令和6年 年間計画の実施状況

#### 防災避難訓練（日中訓練）

| 実 施 日                            | 参 加 者 数                                        | 主 な 内 容                                                    |
|----------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 令和 6 年 7 月 19 日<br>午後2時00分～2時20分 | 職員総数 25名<br>横手消防署南分署員 0名<br>セフティ 1名<br>利用者様 3名 | 通報連絡訓練<br>避難誘導訓練<br>消火活動に使用する設備・器具<br>の取扱い訓練<br>屋内消火栓操作法訓練 |

#### 防災避難訓練（夜間想定訓練）

| 実 施 日                           | 参 加 者 数                                        | 主 な 内 容                                |
|---------------------------------|------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 令和 6 年10月 29 日<br>午後2時10分～2時50分 | 職員総数 17名<br>横手消防署南分署員 3名<br>セフティ 1名<br>利用者様 5名 | 通報連絡訓練<br>避難誘導訓練<br>消火訓練<br>屋内消火栓操作法訓練 |

#### 防災訓練（停電災害想定訓練）

| 実 施 日                            | 参 加 者 数                          | 主 な 内 容                         |
|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 令和 6 年 5 月28 日<br>午前9時00分～15時30分 | 職員総数 54名<br>日本テクノ 1名<br>利用者様 94名 | 停電時訓練<br>非常用発電機稼働<br>電気自動車活用・炊飯 |

#### 防災対策自主点検

|      |               |
|------|---------------|
| 保守点検 | 年 2 回 (3月、9月) |
| 自主点検 | 月 1 回         |
| 防災点検 | 毎日1回          |

上記の点検等は令和6年度同様、令和7年度も実施整備する。

## 令和6年度 グループホームひだまりの家 総括

今年度は介護報酬の改定が行われ、基本部分の増加はあったが、加算部分の減少があり、トータル減収となった。身体拘束廃止未実施減算や高齢者虐待防止措置未実施減算など、やるべき事をやらないと評価されない加算が増えている。また、業務継続計画未策定減算も今年度より開始となり、減算の考え方が今後増える事が予想される。書類の整備や職員への教育など制度に合わせた対応ができるようにしていきたい。

2月にコロナウイルス感染症が施設内で流行した。職員からの持ち込みであり、体調管理の必要性を改めて感じるが、感染防止の難しさも感じる。入居者4名、職員2名が罹患したが、感染者への対応など職員ががんばってくれた為、早く収束する事が出来たと思う。感染症の流行期を把握すると共に、引き続き職員の感染症への理解や対応が進むようにしていきたい。

入居者関係は4名の入居者が退去され、内2名の方が亡くなられている。2名は他の施設へ入所となっている。訪問看護や主治医との連携が取れており、受診対応なども比較的スムーズに行えたと思う。一方、新しい入居者も入られたが、入居申込みが少ない状況が続いており、空床の期間が長くなっている。有料老人ホームや小規模多機能型施設など選択肢が増えているし、利用料金が高額になっている事も影響していると思う。施設の経営状況が悪く、閉じるケースもある中でグループホームのあり方を考えていく必要があるし、グループホームの魅力を発信できる機会も必要だと感じる。

職員関係は、退職者4名、異動2名（4月に1名採用、1名異動）と、入れ替わりが多かった。急な体調不良などにも職員の協力があり、業務を遂行することができた。また、管理者が8月に交代となったが、大きなトラブルはなく経過する事ができたと思う。入居者本人が納得や満足できるように、職員1人1人が十分な意思疎通が図れ、意向をくみあげられるように環境を整えていきたい。

# 令和 6 年度ひだまりの家委員会総括

## 「身体拘束廃止委員会」

1. 会議や学習会を通じて身体拘束廃止に向けた意識の共有ができた。
2. 身体拘束に該当するような対応は無かった。

## 「業務改善・研修委員会」

1. 業務内容の見直しを適宜行い、分担時間などにムラが無いように努めた。
2. 外部研修などに職員を派遣することが出来なかった。

## 「感染対策委員会」

1. うがい・手洗い、消毒などの啓蒙を行い、施設内での感染症発生を最小限にとどめる事ができた。
2. 職員は体調不良の際は遠慮せずにその旨を報告し代替職員も協力し合って対応できた。

## 「広報・介護機器検討委員会」

1. ひだまり通信を毎月作成し、ご家族に普段の様子などを伝えることができた。
2. 介護機器の点検・使用状況の確認を行い、1人1人にあった対応をすることができた。
3. 広報「あがってたんせ」を発行する事が出来なかった。

## 「環境美化委員会」

1. 建物内の環境整備はある程度行う事は出来たが、屋外については手が回らなかった。

## 「事故発生防止委員会」

1. 毎月の会議において入居者様の個別リスクを確認し、対応について確認する機会を持つことができた。

## 「企画委員会」

1. 地域文化祭へ入居者様と作成した作品を出展することができた。
2. 外出や外泊を含め、入居者様とご家族が交流する機会を持つことが出来なかった。

## 「食事委員会」

1. 入居者様にも食事作りや後片付けに参加していただく事で役割をもった生活を提供できた。
2. 職員会議や勉強会において食中毒防止の啓蒙に努め、トラブルなく経過する事ができた。
3. 嗜好などを確認し、個別の対応をすることができた。

## 「計画作成担当委員会」

1. 個々の状態や要望を反映したケアプランを立案できた。

## 「高齢者虐待防止委員会」

1. 会議や学習会を通じて高齢者虐待防止について理解を深める事ができた。
2. 高齢者虐待にあたるような対応は無かった。

## 令和 6 年度年間行事実施状況

| 実施年月日                        | 行事名          | 場所                            | 具体的目標                              | 主な内容            |
|------------------------------|--------------|-------------------------------|------------------------------------|-----------------|
| 令和 6 年 4 月 1 5 日             | お花見ドライブ      | 増田町内<br>真人公園                  | 入居者様の交流<br>を図る。<br>季節を感じる行<br>事の提供 | 外出しての観桜<br>会実施。 |
| 令和 6 年 6 月 1 日<br>～9 月 1 5 日 | ドライブ         | 横手市内<br>増田方面<br>十文字方面<br>浅舞方面 | 入居者様の交流<br>を図る。<br>気分転換を図る。        | 外出ドライブの<br>実施。  |
| 令和 6 年 6 月 2 1 日             | バーベキュー       | 敷地内                           | 入居者様の交流<br>を図る。<br>気分転換を図る。        | B B Q の実施       |
| 令和 6 年 1 0 月 1 9 日<br>2 0 日  | 増田町地域文化<br>祭 | 増田体育館                         | 地域との関わり<br>を持つ                     | 文化祭の鑑賞          |
| 令和 6 年 1 2 月 2 6 日           | 餅つき          | ひだまりの<br>家                    | 入居者様の交流<br>を図る。<br>季節を感じる行<br>事の提供 | 餅つきの実施          |
| 令和 7 年 1 月 3 日               | 書き初め         | ひだまりの<br>家                    | 入居者様の交流<br>を図る。<br>季節を感じる行<br>事の提供 | 書初めの実施          |
| 令和 7 年 2 月 3 日               | 節分           | ひだまりの<br>家                    | 入居者様の交流<br>を図る。<br>季節を感じる行<br>事の提供 | 節分、豆まきの実<br>施   |
| 令和 7 年 3 月 3 日               | ひな祭り         | ひだまりの<br>家                    | 入居者様の交流<br>を図る。<br>季節を感じる行<br>事の提供 | 飾り付け実施          |

『グループホームひだまりの家』

## 慰問・ボランティア・実習等の状況

| 視察・慰問年月日 | 視察・慰問者名               | 備考 |
|----------|-----------------------|----|
| 令和6年度    | 新型コロナウイルス感染対策の為、実績無し。 |    |

## 防災計画の状況

### 令和6年度 年間計画の実施状況

#### 防災避難訓練（日中訓練）

| 実 施 日                        | 参 加 者 数      | 主 な 内 容 |
|------------------------------|--------------|---------|
| 令和6年 6月 26日<br>午後1時30分～1時50分 | 職員総数 5名      | 消火訓練    |
|                              | 羽後電設 1名      | 通報連絡訓練  |
|                              | 横手消防局南分署員 3名 | 避難誘導訓練  |
|                              | 利用者様 9名      |         |

#### 防災避難訓練（夜間想定訓練）

| 実 施 日                       | 参 加 者 数      | 主 な 内 容 |
|-----------------------------|--------------|---------|
| 令和6年10月29日<br>午後1時30分～1時50分 | 職員総数 5名      | 消火訓練    |
|                             | 羽後電設 1名      | 通報連絡訓練  |
|                             | 横手消防局南分署員 3名 | 避難誘導訓練  |
|                             | 利用者様 7名      |         |

#### 防災対策自主点検

|      |             |
|------|-------------|
| 保守点検 | 年 1回 ( 3月 ) |
|------|-------------|

上記の点検等は令和6年度同様、令和7年度も実施整備する。

## 令和 6 年度ひなたの家 総括

令和 6 年度の活動はコロナによる自粛体制をやや緩和し、活動の幅を少しずつ広げた取り組みを行っていたところ、9 月にコロナ感染が発生。その後は緩和体制を一定期間中断することとなったが、それ以外では、近隣の感染状況をみながら外出の機会を作りつつ、コロナ禍から実施していた室内での活動も継続して行い、内外での活動どちらも充実させるように努めた。

9 月のコロナ感染では、職員 4 名(前半 3 名、後半 1 名)、入居者様 4 名の陽性者が発生。ゾーン分けを行ったことで入居者様への感染も当初の 4 名のまま、それ以上拡大することなく、約 10 日間で何とか収束にこぎつけけることが出来た。しかしそのうちの 1 名が重度化し入院となってしまったことは大変残念なことであった。ひだまりの家からは応援職員を派遣していただき、他部署の協力を感謝したい。

入居者様関係では緊急対応後の入院が 2 件あり、2 名とも入院のまま退居となられた。2 名の入居者様の入れ替えにより入居者様全体の身体レベルが一気に引き上げられ、身体介護の度合いが低くなり、グループホーム本来のケアがこれまでより、より多く行える状況となった。はじめは職員の対応がそれに追いついていない状態があったが、入居者様一人一人の希望に添うと同時に、個々に合った余暇活動や日々のできることへの支援を検討、より活動的に過ごしていただけるようケアの充実に努めた。

職員関係では、2 名の職員の入れ替えがあった中で他部署の元管理者がセクションマネージャーとして加わった。経験豊富な職員が新たに加わったことで他職員に対してもよい刺激となり、業務においてもプラスの影響がみられている。今後もその強みを活かして、技術、知識、資質の更なるレベルアップを図っていきたい。

今年度も外部評価を実施した。結果として「外出や外食、地域との交流の機会をコロナ禍前の状態に近づけること」の指摘が挙げられた。外出支援は少しずつ増やしていたものの日常的ではなかったことから、今後はリスク管理と合わせてできることから取り組みを進め、可能な限りコロナ禍前の状況、またはそれ以上になるよう努めていきたい。

地域の他事業所から職員不足の情報が伝えられている。離職防止の対応は必須であり、職員が働きやすい環境の整備には特に重点を置いて取り組んでいきたい。並行して、グループホームとしての在り方を常に問い、入居者様、ご家族の満足につながる、より質の高いサービスの提供を目指していきたい。



# 令和 6 年度「グループホームひなたの家」 各種委員会の活動実績報告

## 「事故発生防止委員会」

- ①事故の集計は毎月実施できた。ヒヤリハット未然防止ノート作成はできなかったが、ヒヤリハット一覧表作成、毎日確認できる場所に設置した。一目で最近発生しているひやりはつとの内容が分かるようにし、事故予防につながるよう工夫した。次年度もヒヤリハット一覧表を活用し、毎月の会議で全員に周知されているか確認を行いたい。
- ②当日中に対応策の検討、実施は行えていたと思うが、申し送りの漏れもあった。連絡ノートでは、目立つ書き方をし、内容が伝わるよう工夫した。
- ③毎月の会議で必ず事故やヒヤリハットの再確認を行った。不参加の職員も会議記録で確認を行っていた。
- ④なかなか過去の事故内容を確認する機会が持てなかった。ファイル内を見やすく整理し、他職員にも確認してもらえるよう呼びかけていく。また、毎月の会議で過去の事故を 1 件取り上げて対応策の再確認を行っていく。

## 「食 事 委 員 会」

- ①状態に応じた柔軟な提供を行えた。
- ②ゼリー状にしたり、味を変えたり、好みに応じる等の工夫が出来ていた。
- ③できることが行えるよう援助できた。提供する作業内容や行う方の人数は今後増やせると思う。
- ④行事食を通して、季節に応じた献立を提供できた。
- ⑤相性の良い入居者様同士テーブルをゆっくり使用していただけるよう席の変更を行ったり、行事等に合わせた BGM を流すなど、ゆっくり食事ができる環境づくりを行った。

## 「行 事 委 員 会」

- ①行事ごとのファイルはまとめることが出来た。
- ②職員の配置の都合により、主・副担当の役割分担が出来なかった。
- ③行事について会議にて周知を行ったが、進捗状況を確認するまでには至らなかった。
- ④職員からの意見や、アイデアを元に実施できた。
- ⑤外出緩和までには至っていないが、短時間のドライブ等を行うことが出来た。

## 「計画作成委員会」

- ①入居者様、ご家族のご要望に沿ったプランの作成を行った。
- ②更新時には、全員の意見を募り、適切な支援方法となるよう検討の上、一人一人あったプランの作成に努めた。
- ③プランの内容について会議で報告、浸透を図るように努めた。
- ④状態変化に応じたプランの変更は、今年度はなかった。

## 「広報委員会」

- ①広報誌「ひなたぼっこ」は年三回の発行は問題なく行えた。
- ②おもて面うら面はそれぞれの内容で作成できた。紙面も見やすくわかりやすい構成で作成できた。認知症に関する情報を次年度からは他職員からも募り、内容の充実に努めたい。

## 「感染対策委員会」

- ①計画通りに勉強会を開催し、感染症についての知識や対策について再確認が行えた。
- ②職員の手指消毒、マスク着用は徹底されていた。
- ③室内の換気について十分ではなく、特に冬場は行えていなかった。
- ④職員の手洗い消毒、グローブの正しい着用等は行っていた。入居者様の食前の手指のアルコール消毒は行えていたが、ハンドソープでの手洗いは不十分であったと思う。全員が確実に出来るよう対応策を検討する。
- ⑤外出時等入居者様にマスク着用は確実に行っていただけたが、「咳エチケット」は行っていただくことは困難だった。
- ⑥各居室のごみの回収も確実にできていなかった。周知不足だった。

## 「環境美化委員会」

- ①入居者様と一緒にすることはできたが、職員によって行っていただく内容に違いがあった。
- ②入居者様が出来ることを一覧にして行う内容を統一して実施できた。
- ③大掃除はチェックシートを使用し、7月、11月に呼びかけて行うことが出来た。コンセント清掃は一部の職員で行った。
- ④花、野菜の苗を入居者様と一緒に購入、植えることが出来た。植えることで気分転換の機会を設けられ、笑顔を引き出すことが出来た。
- ⑤今年も猛暑で、入居者様との水やりの頻度は少なかったが、早番の職員で行えた。花は晩秋まで楽しむことが出来たが、野菜は生育が悪く実がつかなかったものもあった。成長の観察までは至らなかったが、一部の入居者様と収穫を楽しむ機会を作ることかできよかった。
- ⑥食堂には季節ごとの壁画、廊下には入居者様が筆で書かれた季節ごとの書を展示し季節を感じていただけるよう努めた。今年は夏の壁画しか作ることが出来なかったが、書道は毎月行えた。入居者様が作品を完成させ、展示するたびに達成感を味わっていただいていると思う。

## 「身体拘束廃止委員会及び虐待防止委員会」

- ①身体拘束廃止についての勉強会を年二回実施し、その内容について参加していない職員にも周知した。
- ②入居者様へのサービスの向上について毎月の会議にて話し合いを行い、実践に移し、常に丁寧な対応ができるよう努めた。
- ③不適切ケア防止のチェック表で個々のケアについて振り返りを行い、集計した。会議ではチェックが多い項目について報告、改善策を話し合った。以前より、チェックが格段に少なくなっており、不適切ケアがどのような事なのか意識の浸透が図れてきていると思う。
- ④委員会は、主に不適切ケアの集計結果をもとに3ヶ月に1回開催できた。回覧を行い、全職員にその内容について周知が出来ていた。

## 令和6年度 年間行事の実施状況

| 実施月                                 | 行事名       | 場所           | 具体的目標                                 | 主な内容           |
|-------------------------------------|-----------|--------------|---------------------------------------|----------------|
| 令和6年<br>4月 14日<br>15日<br>17日<br>19日 | お花見ドライブ   | 真人公園<br>梨木公園 | 季節感を味わっていただく                          | 外出してのお花見実施     |
| 5月 10日<br>19日                       | 芝桜見物      | 大森公園         | 季節感を味わっていただく                          | 外出してのお花見実施     |
| 5月 25日                              | 花と野菜の苗植え  | ひなたの家内       | 季節感を味わっていただく<br>入居者様同士の交流を図る          | プランター菜園活動実施    |
| 6月 24日<br>26日<br>30日                | あやめまつり見物  | 浅舞公園         | 季節感を味わっていただく                          | 外出してのお花見実施     |
| 7月 6日                               | 七夕行事      | ひなたの家内       | 季節感を味わっていただく                          | 流しそうめん提供       |
| 7月 13日                              | バーベキュー    | ひなたの家車寄せ     | 好まれるものを食べて満足感を感じていただく<br>季節感を味わっていただく | B B Qの実施       |
| 7月 24日                              | 土用の丑の日    | ひなたの家内       | 季節のものを味わい満足感を感じていただく                  | ウナギ料理の提供       |
| 8月 6日                               | 七夕絵どうろう見物 | 湯沢市          | 季節を感じていただき、気分転換を図る                    | 外出しての見学        |
| 8月 12日                              | すいか割り     | ひなたの家内       | すいか割りを楽しみながら季節のものを味わい満足感を感じていただく      | スイカ割の実施        |
| 9月 5日                               | ひなたの家納涼祭  | ひなたの家内       | 季節を感じていただき、気分転換を図る                    | 出店料理やカラオケ大会の実施 |
| 9月 6日                               | 打ち上げ花火鑑賞  | ひなたの家敷地内     | 季節を感じていただき、気分転換を図る                    | 花火鑑賞           |
| 9月 9日                               | 重陽の節句行事   | ひなたの家内       | 食事を通して季節感を味わっていただく                    | 栗ご飯の提供         |
| 9月 18日                              | 敬老会       | ひなたの家内       | 職員から日頃の感謝を伝え、長寿を祝う                    | 長寿の表彰を実施       |
| 10月 13日                             | おはぎ作り     | ひなたの家内       | 食事を通して季節感を味わっていただく                    | おはぎを一緒に作成      |

| 実 施 月                           | 行 事 名   | 場 所                    | 具 体 的 目 標                           |            |
|---------------------------------|---------|------------------------|-------------------------------------|------------|
| 10月 19日                         | 秋の大運動会  | ひなたの家内                 | ゲーム等で体を動かす機会を作り、入居者様同士の交流を図る        | レクレーションの実施 |
| 10月 13日                         | 芋煮会     | ひなたの家内                 | 旬のものを味わい季節感を味わっていただく                | いも煮の提供     |
| 10月 31日<br>11月 3日<br>10日<br>14日 | 紅葉ドライブ  | 東成瀬方面<br>真人公園<br>狙半内方面 | 季節を感じていただき、気分転換を図る                  | 外出しての見学    |
| 11月 17日                         | 菊祭り     | ひなたの家内                 | 菊の花と旬の食事を通して季節を感じていただく              | 外出しての見学    |
| 11月 27日                         | 収穫祭     | ひなたの家内                 | 旬のものを味わい季節感を味わっていただく                | 春に植えた野菜の収穫 |
| 12月 25日                         | クリスマス会  | ひなたの家内                 | 季節を感じていただき、気分転換を図る                  | 飾り付け、ケーキ提供 |
| 12月 29日                         | 忘年会     | ひなたの家内                 | ゲームや職員の余興通して忘年会の雰囲気味わっていただき、気分転換を図る | 職員の余興観覧    |
| 12月 31日                         | 年越し行事   | ひなたの家内                 | 食事を通して季節感を味わっていただく                  | 大晦日料理の提供   |
| 令和7年<br>1月1日～ 3日                | 正月行事    | ひなたの家内                 | 食事やお正月らしい活動を通して季節感を味わっていただく         | 書初め等の実施    |
| 1月 7日                           | 初詣      | 月山神社                   | 季節感を味わっていただく                        | 外出行事       |
| 2月 3日                           | 節分行事    | ひなたの家内                 | 季節感を味わっていただく                        | 豆まき等の実施    |
| 2月 9日                           | 犬っこ祭り見物 | 湯沢市                    | 地域の行事を見物し、季節感を味わっていただく              | 外出しての見学    |
| 2月 15日<br>16日                   | かまくら見物  | 横手市内                   | 季節感を味わっていただく                        | 外出しての見学    |
| 3月 3日                           | ひなまつり行事 | ひなたの家内                 | 季節感を味わっていただく                        | ひなまつり飾り付け  |

## 慰問・ボランティア・実習等の状況

| 視察・慰問年月日 | 視 察・慰 問 者 名  | 備 考                    |
|----------|--------------|------------------------|
| 令和6年10月  | シルバー人材センター 様 | ひなたの家の周囲の<br>草及び落ち葉の除去 |

## 防災計画の状況

### 令和6年度 年間計画の実施状況

#### 防災避難訓練（日中訓練）

| 実 施 日                                     | 参 加 者 数                                           | 主 な 内 容                  |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------|--------------------------|
| 令和 6 年 6 月 2 6 日<br>1 3 時 5 0 分～1 4 時 5 分 | 職員総数 6 名<br>利用者様 8 名<br>横手消防署南分署員 3 名<br>セフティ 1 名 | 消火訓練<br>通報連絡訓練<br>避難誘導訓練 |

#### 防災避難訓練（夜間想定訓練）

| 実 施 日                                         | 参 加 者 数                                           | 主 な 内 容                  |
|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------|--------------------------|
| 令和 6 年 1 0 月 2 9 日<br>1 3 時 5 0 分～1 4 時 0 5 分 | 職員総数 4 名<br>利用者様 8 名<br>横手消防署南分署員 3 名<br>セフティ 1 名 | 消火訓練<br>通報連絡訓練<br>避難誘導訓練 |

#### 防災対策自主点検

|      |               |
|------|---------------|
| 保守点検 | 年 1 回 （1 0 月） |
|------|---------------|

上記の点検等は令和6年度同様、令和7年度も実施整備する。

## 令和6年度 ショートステイ ラ・ボア・ラクテ 総括

1.
  - ①利用者の状態やニーズは年々多様化しているが、利用者毎に情報を的確に把握しながら個別性の高いサービス提供が行えるよう努めた。機能訓練については、上半期はニーズや状態に合わせて個別リハビリを実施し身体機能の維持・向上ができたが、下半期は機能訓練指導員が里んごの里と兼務となったため、双方施設のクラスター発生等の影響によりあまり実施できなかった。しかし、緊急の受け入れやご家族のレスパイト目的での利用を積極的に受け入れ、利用者及びご家族の心身の負担軽減を推進することができた。今後も地域に於けるショートステイの役割が果たせるよう、ご家族・関係機関との連携を密にしながら利用者の望む生活が送れるように支援したい。
  - ②ご家族・地域住民の方々を招いての家庭介護者教室開催を検討したが、感染症の流行状況を考慮し今年度もリーフレット作成、配布を行った。次年度は地域住民への情報発信、地域交流のための方法を模索していく。
  - ③住み慣れた地域や自宅を中心に本人らしい生活が送れるように、利用者一人一人の状況に応じて各部署及び関係機関等と連携を深め支援することができた。感染予防対策を行いながら外出行事等を実施し、行事に特色を持たせることで利用者の社会参加や身体機能維持・向上に努めることができた。今後も施設の特色を活かし、サービス提供がより充実するよう努めたい。
  - ④新型コロナウイルスのクラスター発生があり、再度感染対策の見直しと、職員へウイルスの持ち込みを防止するための対策を周知・徹底した。インフルエンザウイルスなど様々な感染症の流行が県内で見られたため、今後も適宜感染対策の見直しを行い、ご家族・利用者に安心してご利用いただける施設づくりに努めていく。
2.
  - ①目標管理シートを作成し、自己評価・上司評価を行った。それを基に個人面談を実施し、各職員に合わせた指導を行うことで、職員一人一人が目標を持ちながら業務を行えるよう努めた。
  - ②外部研修への参加を行い、オンライン開催の研修と併せて職員が研鑽を積む機会を設けた。今後は研修で習得した知識の他職員への共有を徹底し、業務に反映できるようにしていく。
  - ③技能チェックリストを用いて自己評価・上司評価を行った。本人と上司で評価内容のすり合わせを行い、職員それぞれが得手不得手を把握することでモチベーションの維持やスキルアップできるよう努めた。今後も評価の内容を踏まえ更に専門知識や技術の向上を図り職員一人一人が役割を持ちながら施設全体がレベルアップできるようにしていく。
  - ④各部署会議、定期カンファレンス等、利用者課題を共通認識として持つ為の機会は設けていたが、日常業務中の情報共有不足により苦情に繋がるなど結果としてサービスの質の低下を招いてしまった。今後はサービスの質の向上、職場環境の充実を図るため、情報共有を徹底し、職員間の連携を強化して長く勤務できるような職場づくりを行っていく。
3.
  - ①事前訪問調査、ケアカンファレンス、サービス担当者会議など、ニーズを把握し共有するための機会はあったが、各専門職間での情報共有が不十分であった。次年度は施設内での情報発信・共有を強化するとともに、ご家族やケアマネジャーへの情報伝達、共有を密にして信頼関係の構築に努めたい。また、実施したサービス提供が効果的であったかを評価する体制を構築していく。
  - ②フロア毎に週に2、3回レクリエーション活動を実施した。季節の飾り作成等の工作やクイズ、

軽運動を行い、利用者交流、心身のリフレッシュ、生活意欲の向上に繋げることができた。

③建物設備等の保守・点検を実施、前年度より発生していた各フロア食堂の雨漏りは外壁工事を行い修繕が完了した。今後も快適な生活環境の維持に努めていく。

4. ①物価高騰、最低賃金改定等の影響による値上げの為、業務委託費が増加した。  
②水道光熱費は前年度より増加した。水道料金は26万円程減少したが、電気料金に関しては前年度より補助の対象期間が短くなった影響もあり大幅に増加している。  
③「コスト意識と介護現場での生産性向上」をテーマに勉強会を開催した。勉強会だけではなく啓発活動として定例会でも発信はしていたが、職員の意識改革やコスト削減には繋がっていないため、職員に意識付けできる方法を模索し継続的な活動を行っていく。
5. ①城東消防署と連携し、安全に配慮しながら年2回の防災訓練を行った。避難経路や避難方法の見直しも行い、円滑な有事対応を検証することができた。また人員変動に伴った防災マニュアル及び消防計画の見直しができている。緊急連絡訓練を年2回実施した。有事の際に円滑な対応が行えるよう今後も継続して取り組んでいく。

以上



## 各種委員会総括

### 「給食改善検討委員会」

1. ①利用者様からの意見をもとに嗜好を考慮し、食べづらい食材を控え、メニューの変更や廃止等、献立にできる限り反映するよう取り組んだ。利用者様の状態が日々変化していくため、厨房職員と情報共有し、個人対応や食形態等より良い食事の提供に努めた。味付けが濃い・薄い利用者様や職員から声があり、厨房職員と相談し、全員で味見し意見を言い合える環境にした。  
②カンファレンス時や日頃の生活の中で気になったことを職員間で情報共有し、個人に配慮した食事の提供ができるよう取り組んだ。利用者様からの直接の声、職員からの状況報告をもとに話し合い、新たな個人対応や形態の変更等、改善に努めた。食事摂取量が少ない利用者様については職員と相談して対応を考えた。(ハーフ食の見直しを実施。摂取カロリーを上げるため、補助食を追加した。)  
※委託業者の体制が変わり、禁食について嗜好は受けないことや、個人対応について場合によってプラス料金になるそうで、以前よりは柔軟な対応ができなくなっている。  
③四季を考慮した行事食を提供することができた。コロナウイルスの影響により「ホワイトデー行事」が中止になったが、その他行事は状況をみながら各職員で連携し計画を立て実施することができた。
2. ①改善が必要なメニューについては、委託業者と話し合い都度変更している。  
食材、味の組み合わせを考え、新メニューを取り入れている。  
※令和7年6月～、委託業者の栄養チームが作成した献立に変わる予定。

次年度も衛生管理を徹底し、安心安全な食事の提供に努めたい。また、確認不足(賞味期限等)によるミスを減らし、信頼に繋げられる食事作りを厨房職員と連携を取りながら行っていきたい。嗜好調査や日々の意見等、改善点を踏まえながら新たな取り組みに挑戦し、より良い食事を目指していく。

### 「家庭介護者教室運営委員会」

コロナやインフルエンザの再流行に伴い、前年度に引き続き各ご家庭へのリーフレット配布という形での活動となった。年2回のリーフレット配布予定であったが、準備・作成段階で時間を要し1回の配布となった。今後の感染状況等に応じてリーフレットによる活動を継続し、年2回を目標に作成・郵送していく。感染状況を見ながら、家庭介護者教室の開催も検討していきたい。次年度は、テーマ内容をフロアごと等にワークシェアリングし、より多くの情報を集めた上で資料の作成を試み、精査し各ご家庭へ介護に於ける参考資料の提供に努める。

## 「行事委員会」

コロナ感染が施設内で流行し、予定していた行事が中止になったり毎日の体操などができなかつたりした。感染対策を徹底し、行事開催時は手指消毒・マスクの着用を基本とし、食べ物関連の行事は中止にして対応した。体を動かす機会が減り、感染対応期間以外は、体操をしてADLの保持に努めた。行事は、どれも利用者様が喜んで下さった印象が強い。課題としては、夏祭り行事などの製作準備をする勤務日を確保し、「内容の変更・充実」も必要であると思った。又、外出ドライブや買い物行事も増やしていきたい。

## 「広報委員会」

3ヶ月に1回のペースで広報誌を発行した。利用者様に季節を感じていただける様な行事や、慰問で外部ボランティアの方に来て頂いたり外出行事等開催し、ラ・ポア・ラクテならではの行事の様子を発信することができた。

また、コロナ禍でなかなか会うことのできないご家族へ広報誌を通じて施設での利用者様の様子を伝えることができた。

ホームページへの掲載が現状まだ出来ていないので、ホームページへの広報誌の掲載と、引き続き施設の取り組みや特色を多くの方に知って頂けるよう、皆さんの目にとまるような広報誌の作成と、ホームページを活用した迅速な情報発信を行うよう努めたい。

## 「感染対策委員会」

1. 月1回委員会を開催し、秋田県内・市内感染状況の共有と、フロア毎に換気などの感染予防対策の実施状況について確認した。昨年度同様、感染委員でケアサポート課職員全員に対してガウンテクニックの確認を行った(1回/年)。ガウンの着脱について清潔・不潔について曖昧な職員もいたため、来年度も継続して行っていきたい。また、今年度は手洗い・手指消毒のチェックも全職員対象に実施した。手順が分かるように手洗い・手指衛生のポスターを新たに作成し洗面所などに掲示した。今年度もフロア毎・看護で1回ずつ(計4回)感染・褥瘡についてテーマを決めて委員会内でミニ勉強会を行った。
2. 8月と2.3月に施設内でコロナウイルス感染症のクラスターが発生した。マニュアルに基づき感染対策を行い、終息後に委員会で振り返りを行った。反省点を踏まえ、今後改善予定。また、6月に委員会内で発生時(フェーズⅢ)初動訓練を行い、実際に物品を準備してみた。参加した感染委員以外も実施できるように全体で周知できる方法が必要と考え、物品の置き場の固定や研修も検討していきたい。
3. コロナウイルス感染マニュアルを11月に改訂、ポスターも変更した。今後改訂予定。
4. 今年度は「ノロウイルス・手指衛生・吐物処理について」の勉強会を行った。手指衛生では全員に実施した手洗い・手指消毒チェックの結果を報告し、苦手な部分の周知を行った。また、嘔吐物処理キットを用いて演習してもらい、動画撮影し、全員に周知した。来年度も職員が学びたいことについて意見を聞きながら勉強会を開催したい。

## 「褥瘡対策委員会」

月1回委員会を開催し、利用者様の褥瘡危険因子や褥瘡発生状況、褥瘡発生者の治療状況についてなどの情報共有を行った。また、状態にあったベッドマットが使用されているか評価を行った。褥瘡を繰り返す・ADL低下している利用者様に対してはベッドマットの変更を行い、褥瘡改善することが出来た。またフロア職員の協力もあり、体調の悪化に応じて体位交換を行うことが出来た。複数の除圧マットがあり、利用者様個々のリスク状態に応じたマットの選択を行えたと思う。

今後も利用者様が安楽に過ごせるように利用者様一人一人に適したポジショニングやケアを実施していきたい。

## 「身体拘束廃止委員会」

- 1.利用者様一人一人の安全の確保と尊厳を保持する為、個々に適したセンサーの設置を行い、適正について都度評価をする事ができた。不必要なセンサーを設置していないか、故障や不具合がないか等を日々確認し、又月1回委員会後に確認作業を実施した。

物理的な要因だけでなく、心理的要因にも目を向け、利用者様の心のケアに力を入れる事ができた。スピーチロックや不適切な声掛けがないか、委員会を中心に観察し、会議内での啓発を積極的に行う事ができた。

- 2.今年度も身体拘束ゼロであった。

緊急時やむを得なく、身体拘束が必要になった場合に備え、身体拘束解除に向けての取り組みなど委員会や勉強会を通して確認を行った。

身体拘束ゼロ、廃止に向け、又それを必要としない介護を行っていく為、ご利用者様の状態の把握に努め、情報共有を徹底していく。

- 3.施設内の研修については委員会主催で年2回勉強会を実施する事ができ、身体拘束の振り返りや更なる知識の習得を図る事ができた。昨年度同様、施設外の研修は新型コロナウイルスの影響により、参加する事ができなかった。

## 「高齢者虐待防止委員会」

- 1.前年度同様、虐待の予防、不適切な介護の防止として、委員会主催での勉強会の実施、委員会会議内での職員への啓発、知識の習得に努める事ができた。身体的な部分だけでなく、心理的な部分にも焦点をあてる事ができ、今年度、施設内外での虐待は認められなかった。

介助中にできたと思われる内出血斑、原因を特定する事が難しい内出血斑が多数あった。

虐待と疑われる事がないように原因の把握、適切で安全な介助方法の周知と対応策の徹底を行っていく。職員のストレス把握の為、ストレスチェックを実施している。

大きな変化はみられていないが、職員の精神状態の変化の把握は今後も継続して行っていく必要がある。ただストレスチェックを行うだけでなく、結果を受けて目に見える形での取り組みが重要となる。虐待の早期発見の為、利用者様の状態把握、送迎時の観察を行う事を発信していく事ができた。引き続き、観察を行っていく。

2.施設内の研修については委員会主催で年2回勉強会を実施し、個々の知識の習得と理解を深め、啓発を行う事ができた。今年度は勉強会の中で、虐待は犯罪であるという事、虐待をするとどういった罪に問われるのかを判例を交え周知した。

昨年度同様、施設外の研修は新型コロナウイルスの影響により、参加する事ができなかった。次年度はオンライン研修等への参加を積極的に行い、知識の習得に繋げていきたい。

## 「事故発生防止委員会」

1. ①前月の各部門で挙げたヒヤリ・ハット、気づき報告の周知と、前月事故の集計・分析、1か月前の事故の対応策についての振り返りを行った。今年度の事故発生件数、及び前年度比については下記の表を参照。事故件数の累計は113件で前年度より6件増加している。転倒・転落の事故が増加しているがチューブトラブルに関しては昨年度5件発生していたが、今年度は発生していない。誤薬、薬に関するトラブルも減少した。

今年度は食事中の窒息により利用者様が亡くなるトラブルが発生している。トラブル発生時、介護士、看護師が迅速な対応を行ったが救命はかなわなかった。窒息を未然に防ぐ為、摂食、嚥下についてのカンファレンスを約2週間に1回行っている。また、居室で食事摂取している方々に対しては5分に1回の巡視を標準的な対応として行う事としている。

高齢者は誤嚥のリスクが高い事を認識し、些細な状態の変化に敏感に反応して、食事形態や介助方法の検討、変更を迅速に行い、リスクの軽減に努める。

事故の発生場所としては、前年度同様、居室内が一番多く、次いで食堂、トイレとなっている。居室内での事故は前年度よりわずかに減少はしているが事故の65%が居室で起きている。居室内のリスク把握や環境整備などが柔軟に実施出来ておらず、事故のリスクに対しても敏感に対応出来ていない。危険な行動があればとりあえずセンサー対応にすればいいといった単一的な思考になってしまっている。センサーに関しては使用者が多くなり、自ら自分たちの業務負担を増大させ、自分の首をしめている状況が散見される為、定期的な対応の見直しを図っている。

今後も介護技術を含む統一对応を定着させ、各職員のトラブルに関する意識向上を進めていく。日々の生活の中で、ヒヤリ・ハット、気づき報告の積極的な記入やトラブル対応策に対する定期的な見直しを継続して、意識、観察力向上につなげていく。

|      | 転倒<br>転落 | 誤薬  | 皮膚<br>トラブル | チューブ<br>トラブル | 誤嚥  | その他 | 累計   |
|------|----------|-----|------------|--------------|-----|-----|------|
| 今年度  | 68件      | 2件  | 23件        | 0件           | 0件  | 20件 | 113件 |
| 前年度比 | +13件     | -4件 | -3件        | -5件          | -2件 | +7件 | +6件  |

②新規採用者には、事故防止のための当施設の取り組みである、ヒヤリ・ハットの運用、気づきの報告書について周知。学習会の開催については、感染対応の事情により開催できなかったが、「事故発生予防と再発防止」については、月々の発生状況資料の配布や委員を中心に再カンファレンスの実施により、各職員の観察力や意識の向上に繋がられたと思う。「緊急時の対応（応急処置など）」については、実施できなかったので次年度で行ってきたい。

③新型コロナウイルスの予防の為、外部研修等への出席は控えた。

2.大きな紛争に発展した事例はなかった。

## 「安全衛生管理委員会」

福祉用具の安全点検を年2回実施し、必要箇所は修繕を行っている。福祉用具以外の建物関係についても適宜点検・修繕して労働災害の防止に努めた。また、昨年度受動喫煙防止宣言施設に登録したことにより秋田県から支給されたポスターやステッカーを活用して職員の健康管理強化や、メンタルヘルスケアについての情報発信を行い精神面のケアにも努めた。今後も継続した取り組みを行い労働災害防止に努めていく。

# 研修・出張の実施状況

【ショートステイ ラ・ボア・ラクテ】

| 参 加 年 月 日  | 研 修 内 容                                                                          | 場 所          | 参 加 者  |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------|
| 令和6年5月23日  | メンタル不調者の早期発見・早期対処について                                                            | 遊学舎          | 佐藤 要輔  |
| 6月13日      | 宿泊施設等のトコジラミ対策研修会                                                                 | にぎわい交流館AU    | 中山 由紀  |
| 7月17日      | 介護記録の理解と実践（基礎コース）                                                                | 秋田県社会福祉会館    | 佐藤 要輔  |
| 7月19日      | 福祉保健施設・事業者等看護職員研修                                                                | 秋田県社会福祉会館    | 中山 由紀  |
| 8月21日      | 施設給食担当職員研修                                                                       | 秋田県社会福祉会館    | 斉藤 佳名子 |
| 9月4日       | 介護記録の理解と実践（応用コース）                                                                | 秋田県社会福祉会館    | 佐藤 要輔  |
| 9月9日       | 福祉保健施設・事業者等事務職員研修                                                                | 秋田県社会福祉会館    | 堀井 志穂  |
| 9月19日・20日  | 地域福祉推進研修                                                                         | 秋田県社会福祉会館    | 田中 奈留美 |
| 9月20日      | 新人介護従事者定着研修                                                                      | 秋田県社会福祉会館    | 佐藤 優花  |
| 9月24日      | 雇用管理者責任者講習                                                                       | にぎわい交流館AU    | 渡部 祥子  |
| 9月28日      | 秋田県感染制御指導者育成研修                                                                   | 秋田市保健センター    | 中山 由紀  |
| 10月11日     | 秋田市結核予防研修会                                                                       | 中央市民サービスセンター | 櫻庭 亜矢子 |
| 10月23日     | 介護職員研修会                                                                          | 市役所          | 佐藤 要輔  |
| 11月6日      | 介護施設等看護実務者研修                                                                     | 秋田県社会福祉会館    | 中山 由紀  |
| 11月7日      | 福祉サービスに関わる苦情解決研修                                                                 | オンライン        | 東海林遼   |
| 11月8日      | 秋田県感染制御指導者育成研修                                                                   | 秋田市保健センター    | 櫻庭 亜矢子 |
| 11月8日      | 第1回 秋田市在宅医療・介護連携セミナー                                                             | 秋田県J Aビル     | 田中 奈留美 |
| 11月12日・13日 | 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「中堅コース」                                                        | 秋田県社会福祉会館    | 山口 洵   |
| 11月26日     | 秋田県社会福祉施設等感染症対応力向上推進者養成研修                                                        | 秋田市保健センター    | 高橋 昇太  |
| 12月3日      | 介護施設等看護実務者研修                                                                     | 秋田県社会福祉会館    | 櫻庭 亜矢子 |
| 12月15日     | ハラスメント対策セミナー研修                                                                   | 秋田県総合保健センター  | 渡部 祥子  |
| 12月11日     | 「2024年介護報酬改定での高齢者虐待、身体拘束の取り扱いについてのポイント-高齢者虐待防止措置の未実施減算、身体拘束等の適正化が運営基準に-」オンライン勉強会 | オンライン        | 佐藤 要輔  |
| 12月12日・13日 | 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「チームリーダーコース」                                                   | 秋田県社会福祉会館    | 斎藤豪志   |
| 12月16日     | 施設長のためのマネジメント研修                                                                  | 秋田県社会福祉会館    | 渡部 祥子  |
| 令和7年2月4日   | OJTリーダー研修                                                                        | オンライン        | 田中 智晃  |
| 2月13日      | 稼働率UP×業務効率化を実現した大型法人の施策とは                                                        | オンライン        | 田中 奈留美 |
| 2月18日      | 第21回施設・在宅ケア研修会                                                                   | 秋田厚生医療センター   | 櫻庭 亜矢子 |

# 職員学習会の実施状況

【ラ・ボア・ラクテ】

| 開催年月日     | 研修内容                 | 参加人数 |
|-----------|----------------------|------|
| 令和6年 5月8日 | 食中毒発生予防について          | 10名  |
| 11月22日    | コスト意識と介護現場の生産性向上について | 9名   |
| 12月9日     | ノロウイルス・手指消毒・嘔吐処理について | 9名   |
| 令和7年 2月5日 | 「看取り介護」と「精神的ケア」について  | 11名  |
| 2月13日     | 高齢者虐待防止・身体拘束廃止について   | 9名   |
| 3月28日     | 高齢者虐待防止・身体拘束廃止について   | 7名   |

## 令和6年度年間行事計画の実施状況

| 実施年月日                         | 行事名         | 場所               | 具体的目標                              | 主な内容                  |
|-------------------------------|-------------|------------------|------------------------------------|-----------------------|
| 令和 6年 4月 3日                   | 桜レクリエーション行事 | 施設各フロア           | 季節感を味わう行事の提供<br>他利用者との交流を図る        | レクリエーション              |
| 令和 6年 4月16日<br>4月18日          | 外出行事（花見）    | 御所野総合公園          | 春の空気に触れ外出を楽しむ<br>んでいただく            | 花見<br>散歩              |
| 令和 6年 5月11日                   | 母の日行事       | 施設各フロア           | 女性利用者へ感謝を伝える                       | 花贈呈                   |
| 令和 6年 5月21日<br>5月22日<br>5月23日 | お茶会行事       | 施設各フロア           | 季節感を味わう行事の提供                       | 抹茶・お茶菓子の提供            |
| 令和 6年 6月 5日<br>6月 6日<br>6月 7日 | 外出行事（動物園）   | 大森山動物園           | 動物園を見学し外出を楽しむ<br>んでいただく            | 動物の見学<br>散歩           |
| 令和 6年 6月16日                   | 父の日行事       | 施設各フロア           | 男性利用者へ感謝を伝える<br>他利用者との交流を図る        | 花贈呈                   |
| 令和 6年 6月12日                   | 棒サッカー行事     | 施設各フロア           | 利用者の健康のため<br>他利用者との交流を図る           | レクリエーション              |
| 令和 6年 6月17日                   | 開設記念行事      | 施設各フロア           | 施設の開設日をお祝い<br>地域の方と交流を図る           | 慰問                    |
| 令和 6年 7月13日                   | 竿燈慰問行事      | 正面玄関             | 地域の機関と交流を図る                        | 慰問                    |
| 令和 6年 7月24日                   | 夏祭り         | 施設各フロア           | 他利用者との交流を図る<br>祭りを開催し非日常的な時間を過ごす   | 催し物<br>屋台             |
| 令和 6年 8月 2日                   | かき氷行事       | 施設各フロア           | 季節感を味わう行事の提供                       | かき氷の提供                |
| 令和 6年 8月 6日                   | 竿燈お囃子慰問行事   | 正面玄関<br>（施設各フロア） | 地域の機関と交流を図る                        | 慰問                    |
| 令和 6年 8月7日<br>8日(中止)          | すいか割り行事     | 施設各フロア           | 季節感を味わう行事の提供                       | すいか割り行事               |
| 令和 6年 9月27日                   | 敬老会         | 施設各フロア           | 利用者の長寿を祝う                          | 長寿の表彰<br>記念品の贈呈       |
| 令和 6年10月31日                   | ハロウィン行事     | 施設各フロア           | 季節感を味わう行事の提供<br>新しい文化に触れ刺激を受けていただく | 職員の仮装・レクリエーション・お菓子の提供 |



|                           |                 |         |                                       |                 |
|---------------------------|-----------------|---------|---------------------------------------|-----------------|
| 令和 6年11月12日<br>13日<br>14日 | 外出行事（紅葉）        | 河辺・雄和方面 | 他利用者との交流を図る<br>身体を動かしリフレッシュ<br>していただく | 2種目の競技実施        |
| 令和 6年11月20日               | 美川憲一もの<br>まねショー | 施設各フロア  | 他利用者との交流を図る<br>非日常的な時間を過ごす            | 慰問              |
| 令和 6年12月11日               | サンタレース<br>行事    | 施設各フロア  | 他利用者との交流を図る<br>季節感を味わう行事の提供           | レクリエーション        |
| 令和 6年12月20日<br>～22日       | 冬至(ゆず湯)<br>行事   | 5階浴室    | 季節感を味わう行事の提供                          | ゆず湯に入浴          |
| 令和 6年12月25日               | クリスマス会          | 施設各フロア  | 他利用者との交流を図る<br>季節感を味わう行事の提供           | ハンドベル演奏会        |
| 令和 7年 1月15日               | ピンボール行<br>事     | 施設各フロア  | 他利用者との交流を図る<br>身体を動かしリフレッシュ<br>していただく | ピンボールゲーム<br>の実施 |
| 令和 7年 2月 3日               | 節分行事            | 施設各フロア  | 他利用者との交流を図る<br>季節感を味わう行事の提供           | 豆まきの実施          |
| 令和 6年 2月14日               | バレンタイン<br>行事    | 施設各フロア  | 他利用者との交流を図る<br>季節感を味わう行事の提供           | チョコ系のおやつ<br>の提供 |

## 慰問・ボランティア・実習等の状況

| 視察・慰問年月日                                                  | 視 察 ・ 慰 問 者 名                 | 備 考          |
|-----------------------------------------------------------|-------------------------------|--------------|
| 令和6年                                                      |                               |              |
| 6月12日～14日                                                 | ママファミ介護教室<br>伊藤 なつ美 様         | 介護現場実習       |
| 6月17日                                                     | 佐川企画<br>佐川 篤 様                | 秋田万歳・漫芸披露    |
| 7月 1日～ 3日                                                 | ママファミ介護教室<br>奥田 明子 様・鈴木 由佳里 様 | 介護現場実習       |
| 7月13日                                                     | 駅東竿灯会 様                       | 竿灯披露         |
| 10月 2日・ 3日<br>16日・17日<br>30日・31日<br>11月 6日・ 7日<br>13日・14日 | 秋田県歯科医療専門学校 様                 | 介護職員初任者研修の実習 |
| 11月27日～29日                                                | ママファミ介護教室<br>小坂 啓仲 様          | 介護現場実習       |
| 12月 5日                                                    | ママファミ介護教室<br>佐々木 久美子 様        | 介護現場実習       |

## 防災計画の状況

### 令和 6 年度 年間計画の実施状況

#### 防災避難訓練(夜間想定)

| 実 施 日                                    | 参 加 者 数                                               | 主 な 内 容                                                           |
|------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 令和 6 年 6 月 2 6 日<br>午後 2 時 00 分～2 時 30 分 | 職員総数 1 4 人<br>利用者様 6 1 人<br>猿田興業株式会社 1 人<br>城東消防署 3 人 | 消火活動に使用する設備・器具<br>の取扱い訓練<br>消火訓練<br>屋内消火栓の扱い方<br>通報連絡訓練<br>避難誘導訓練 |

#### 防災避難訓練(日中想定)

| 実 施 日                                      | 参 加 者 数                                                   | 主 な 内 容                                |
|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 令和 6 年 1 1 月 2 7 日<br>午後 2 時 00 分～2 時 30 分 | 職員総数 1 6 人<br>利用者様 3 人<br>猿田興業株式会社 1 人<br>あきたすてらクリニック 2 人 | 屋内外消火栓の扱い方<br>通報連絡訓練<br>避難誘導訓練<br>消火訓練 |

#### 防災対策自主点検

|      |                  |
|------|------------------|
| 保守点検 | 年 2 回 (5 月、11 月) |
| 自主点検 | 年 1 回            |
| 防災点検 | 毎日 1 回           |

上記の点検等は令和 6 年度同様、令和 7 年度も実施整備する

## 令和 6 年度 居宅介護支援センター総括

令和 6 年度において、介護支援専門員法定研修に適切なケアマネジメント手法が取り入れられ、今までのアセスメント内容のなかで、疾患管理に重きをおいた視点を求められようになった。

事業運営においては、当法人事務課及び県担当者の手助けを令和 6 年度秋田県介護テクノロジー活用支援事業費補助金制度の活用により 3/4 の補助金をうけ、モバイルプリンター、iPad の整備を行うことが出来た。これにより、訪問先での入力とプリントアウト、コピーが可能になり、生産性向上を図ることが出来た。業務改善の提案や新しい取り組み、肺酢する業務など検討し、以前よりも一体的な事業運営ができ、補完しあえることを実感できた年度だと感じている。

管理者においては、法人及び事業所内の職員の協力のもと、秋田県介護支援専門員協会の理事としての業務や日本介護支援専門員協会の業務、秋田県医師会との活動、さらには生産性向上についての執筆にあたることができた。

対外的な業務が年々増加していると感じているが、土台となっている居宅介護支援事業所のいち介護支援専門員であることを常に意識して次年度も業務にあたりたい。

## 令和 6 年度 訪問介護センター 総括

重度加算算定は満たすことができたが、利用者数がなかなか伸びず

また、4 月からの介護報酬の改定で今までは特定事業加算Ⅰを算定していたが算定条件が満たせず、特定事業加算Ⅱの算定となり、報酬も減となった。そのことも踏まえ、いろいろな面から今後のことを検討した結果、10 月 31 日を持って訪問介護センター廃止となった。

訪問介護センターに協力して頂いた各職種関係者の皆様には深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

# 令和 6 年度 訪問リハビリセンター 総括

## 1. 事業所閉鎖までの経過について

訪問リハビリテーション事業は、『利用者の“できること”を活かし、自立した在宅生活・社会参加に繋げていけるように支援する』という事業計画のテーマに基づいて、令和 6 年 5 月上旬より事業閉鎖に向けて以下の準備を進めて来ました。

- ① ご家族・ご本人への説明
- ② 各居宅介護支援事務所への連絡
- ③ 利用者の方の受け皿についての担当ケアマネとの相談・調整
- ④ 利用者それぞれが利用する事業所への情報提供
- ⑤ 今後の生活に対してのフォローアップ

他訪問リハビリ事業所への移行（3 件）、当法人通所リハビリへの移行（4 件）

他通所リハビリへの移行（1 件）、健康アップ教室への移行（2 件）、利用終了（入院含む）

（4 件）

## 2. その他

コロナウイルス等感染症の流行に伴い、施設内への感染症持ち込みを防止するため事業所医師（施設長）の診察が行えなくなったこと、流行が落ち着いても施設関係者以外の立ち入りが制限されるなど、介護老人保健施設に併設した訪問リハビリテーション事業の提供の難しさを感じました。 令和 6 年 7 月 31 日にて事業所閉鎖となりました。

# 令和6年度 りんごの里くらしのサポートセンター総括

## 「住まい・生活支援事業」

### ① 見守り・安否確認について

- ・現在1名の方が利用中。生活支援の一つとして令和7年度も継続していく。

### ② 住まいについて

- ・問合せ等の件数はありません。

## 「地域支援活動」

住民主体による活動の「つどいの和 りんりん」への送迎や諸準備など後方支援を継続している。

### ① つどいの和りんりんへの令和6年度の参加者延べ人数は、268人でした。

### ② その他の地域へ出向いての活動は、実施実績はありません。

# 事業別利用者状況表（令和6年度）

| りんごの里 福寿園           | R6.4月 | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | R7.1月 | 2月    | 3月    | 合計（人）  | 月平均（人） | 平均利用者 |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|
| 施設サービス              | 2,451 | 2,556 | 2,545 | 2,691 | 2,762 | 2,598 | 2,582 | 2,548 | 2,736 | 2,772 | 2,479 | 2,649 | 31,369 | 2,614  | 92.7  |
| 短期入所                | 179   | 237   | 245   | 234   | 267   | 132   | 206   | 225   | 217   | 146   | 160   | 213   | 2,461  | 205    |       |
| 介護予防短期入所            | 0     | 0     | 6     | 3     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 9      | 1      |       |
| 合計                  | 2,630 | 2,793 | 2,796 | 2,928 | 3,029 | 2,730 | 2,788 | 2,773 | 2,953 | 2,918 | 2,639 | 2,862 | 33,839 | 2,820  |       |
| 通所リハビリテーション         | 732   | 742   | 708   | 813   | 849   | 795   | 801   | 759   | 736   | 685   | 665   | 771   | 9,056  | 755    | 33.3  |
| 予防介護通所<br>リハビリテーション | 99    | 124   | 105   | 127   | 103   | 93    | 101   | 92    | 93    | 86    | 92    | 105   | 1,220  | 102    |       |
| 合計                  | 831   | 866   | 813   | 940   | 952   | 888   | 902   | 851   | 829   | 771   | 757   | 876   | 10,276 | 856    |       |

| グループホーム<br>ひだまりの家 | R6.4月 | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | R7.1月 | 2月  | 3月  | 合計（人） | 月平均（人） | 平均利用者 |
|-------------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-------|--------|-------|
|                   | 270   | 279 | 265 | 242 | 234 | 264 | 279 | 270 | 279 | 279   | 252 | 238 | 3,151 | 263    | 8.6   |

| グループホーム<br>ひなたの家 | R6.4月 | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | R7.1月 | 2月  | 3月  | 合計（人） | 月平均（人） | 平均利用者 |
|------------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-------|--------|-------|
|                  | 270   | 279 | 243 | 273 | 279 | 270 | 256 | 256 | 279 | 279   | 252 | 279 | 3,215 | 268    | 8.8   |

| ショートステイ<br>ラ・ポア・ラクテ | R6.4月 | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | R7.1月 | 2月    | 3月    | 合計（人）  | 月平均（人） | 平均利用者 |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|
|                     | 1,862 | 1,906 | 1,837 | 1,932 | 1,887 | 1,806 | 1,939 | 1,849 | 1,928 | 1,909 | 1,738 | 1,804 | 22,397 | 1,866  | 61.4  |

| りんごの里 福寿園<br>訪問介護センター | R6.4月 | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | R7.1月 | 2月 | 3月 | 合計（回数） | 月平均（回数） |
|-----------------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|----|--------|---------|
| 身体介護                  | 188   | 189 | 181 | 173 | 163 | 106 | 21  | —   | —   | —     | —  | —  | 1,021  | 146     |
| 身体生活                  | 29    | 32  | 38  | 39  | 38  | 0   | 0   | —   | —   | —     | —  | —  | 176    | 25      |
| 生活援助                  | 79    | 84  | 61  | 57  | 40  | 30  | 18  | —   | —   | —     | —  | —  | 369    | 53      |
| 総合事業                  | 44    | 51  | 47  | 55  | 36  | 29  | 31  | —   | —   | —     | —  | —  | 293    | 42      |
| 合計                    | 340   | 356 | 327 | 324 | 277 | 165 | 70  | 0   | 0   | 0     | 0  | 0  | 1,859  | 266     |

| りんごの里 福寿園<br>訪問リハビリセンター | R6.4月 | 5月  | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | R7.1月 | 2月 | 3月 | 合計（回数） | 月平均（回数） |
|-------------------------|-------|-----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-------|----|----|--------|---------|
|                         | 110   | 110 | 78 | 82 | —  | —  | —   | —   | —   | —     | —  | —  | 380    | 95      |

※介護予防分含む

| りんごの里 福寿園<br>居宅介護支援センター | R6.4月 | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | R7.1月 | 2月  | 3月  | 合計（人） | 月平均（人） |
|-------------------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-------|--------|
|                         | 155   | 155 | 161 | 166 | 159 | 168 | 173 | 170 | 168 | 160   | 159 | 166 | 1,960 | 163    |

## 事業実績報告の付属明細書

### 1. 役員の他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況

特にありません。

### 2. その他の重要な事項

|                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| りんごの里福寿園訪問リハビリセンター | 令和 6 年 8 月 3 1 日事業廃止   |
| りんごの里福寿園訪問介護センター   | 令和 6 年 1 1 月 3 0 日事業廃止 |